

令和7年度 第37回 三ヶ日東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月15日（水）15時00分～16時30分
- 2 開催場所 三ヶ日東小学校 大会議室
- 3 出席委員 石原 正仁、大野 恵美子、楠 道寛、和田 勝美、大井 宏文、
小寺 亜貴子、染葉 直美、鈴木 康二
- 4 欠席委員 長坂 恭輔、若松 一也
- 5 学 校 中村 圭介（校長）、平田 香織（教頭）、高畠 博（教務主任）
山田 雅美（CSディレクター）
- 6 浜松市教育委員会 山本 俊行（学校地域連携課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 山田 雅美

9 議長の選出

司会（鈴木委員）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回会議終了後決定した通り、和田委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 前回会議録の確認

司会の指示により、教頭から、別紙資料に基づき前回会議録について説明があった。

11 協議事項

- （1）学校サポーター、学習支援について
- （2）児童の様子に関すること
・全国学力・学習状況調査結果 等
- （3）学校評価アンケートの項目について
- （4）令和7年度 学校運営協議会の自己評価について

12 会議記録

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）学校サポーター、学習支援について

議長の指示により、染葉委員から別紙資料に基づき、学校サポーター、学習支援について説明があった。

委員から以下の発言があった。

◇10月21日に6年生を対象にプロウエイクボーダーのSUNNYさんによる講演会を行う。(鈴木委員)

◇12月9日に6年生を対象に、「静岡どぼくらぶ講座」の建設関係の体験講座を行う。(鈴木委員)

◇「静岡どぼくらぶ講座」の体験とは何をやるのか？(和田委員)

↳土木の最新技術の体験を行う。(A R、I C T等 見学可)(鈴木委員)

◇最新技術等は子供たちがわくわくする。(和田委員)

◇家庭科ボランティアは子供たちの必要なタイミングでサポートしていただけて、ありがたい。(教頭)

◇保護者の方が積極的に参加してくれる。(染葉委員)

◇子供たちも素直なので、ボランティアに入っても進めやすい。(大野委員)

◇通年で行われている、算数の学習支援はどのように行われているのか？

(石原委員)

↳主に5年生の授業に入ってもらっている。竹下さんの都合の良い時に、授業に入ってもらい、サポートしてもらっている。(教務)

◇読み聞かせのボランティアが月に2回程来てくれている。(染葉)

協議の結果全員異議なくこれを承認した。

(2) 児童の様子に関すること

・全国学力・学習状況調査結果 等

議長の指示により、高畠(教務)から別紙資料に基づき、全国学力・学習状況調査結果について説明があり、意見を求めたところ、委員から以下の発言があった。

◇学習時間というのは、塾の時間は入らないのか？(大井委員)

↳塾、家庭教師、インターネットを使っでの学習の時間も含まれる。(教務)

◇都会の子より塾にっている子は少ないが、それでも点数が高いのは頑張っていると思う。(大井委員)

◇アンケートを実施する際、アンケート項目について説明がないので、解釈の仕方によって子供たちの回答が厳しめに表れているのではないかと。(石原委員)

◇タブレットを使い自分で考えて回答するので、解釈の違いがある。(教頭)

◇I C Tの機器を使うことで情報処理技術は向上しているが、それを関連付けて活用していくことはとても難しい。I C Tで得た情報を関連付けて扱うことや、活用の仕方を身に付けることを指導して欲しい。(石原委員)

◇学力調査は毎年やっているのか？その年の差異はあるのか？(和田委員)

↳毎年行われている。その年によって差異はある。(教務)

協議の結果全員意義なくこれを承認した。

(3) 学校評価アンケートの項目について

議長の指示により、高畠（教務）から別紙資料に基づき、学校評価アンケートについて説明があり、委員から以下の発言があった。

◇同じ質問で、児童、保護者、教員でずれが生じると思うが、具体的に大きくずれが生じる項目は何か？（石原委員）

↳そこまで大きくずれが生じる項目はない。（教務）

◇不登校の児童にもアンケートを実施するのか？（鈴木）

↳可能な限り実施する。（教務）

◇中学でも不登校や、保健室、別室登校がかなり増えていて、対策はしていると思うが年々大変になっていくと思う（大井委員）

◇アンケート結果は開示されるのか？

↳次回の運営協議会で集計結果を報告する。（校長）

◇保護者は子供の学校での様子をとらえづらく、参観会での様子しか分からないので子供を見つめ直すいい機会になる。（大野委員）

協議の結果全員異議なくこれを承認した。

(4) 令和7年度 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員から以下の発言があった。

◇（昨年度の目標にある）地区社協で地域のサロン用の人材バンクを作っていたが、途中で止まっている。（楠委員）

◇地区社協の人材バンクではなく、学校としての人材バンクをそのまま活用していけばいい。（大野委員）

協議の結果全員異議なくこれを承認した。

■その他連絡事項等

(1) 次年度以降の委員について

司会の指示により、教頭より次年度以降の委員について説明があった。

(2) 次回議長の選出

司会より次回議長の選出について、議長を大井委員、司会を若松委員に推挙する旨の報告があった。

(3) 今後の予定

○司会より、年間予定について説明があった。

第38回：令和8年 2月18日（水）13時30分～15時00分

○学校地域連携課、山本様より挨拶があった。